

令和3年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,530	8,776	4,467	4,309	18	26
2 千 石	4,074	6,788	3,432	3,356	0	△ 20
3 内 山	5,808	7,948	4,197	3,751	6	2
4 大 和	3,480	6,737	3,326	3,411	△ 3	△ 15
5 上 野	7,438	15,538	7,690	7,848	18	26
6 高 見	7,443	13,410	6,400	7,010	13	△ 5
7 春 岡	7,040	11,080	5,781	5,299	5	△ 2
8 田 代	11,540	21,904	10,610	11,294	△ 8	△ 5
9 東 山	10,456	19,429	9,601	9,828	△ 18	△ 41
10 見 付	4,393	8,146	4,133	4,013	△ 2	△ 9
11 星 ケ 丘	3,566	6,948	3,145	3,803	7	17
12 自由 ケ 丘	3,560	7,188	3,283	3,905	9	12
13 富士見台	6,503	15,291	7,080	8,211	2	8
14 宮 根	3,888	8,159	3,864	4,295	△ 11	△ 22
15 千代田橋	3,744	8,446	3,970	4,476	8	10
千 種 区 計	88,463	165,788	80,979	84,809	44	△ 18
R2.3.1	87,800	165,970	81,068	84,902	△ 28	△ 42
対 前 年 比	663	△ 182	△ 89	△ 93	72	24
名古屋市長	1,129,474	2,325,060	1,147,387	1,177,673	△ 563	△ 1,784
愛知県 (R2.2.1)	3,273,884	7,535,266	3,767,606	3,767,660	2,013	△ 1,373

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
	70	124	△ 54	899	863	36

【参考】

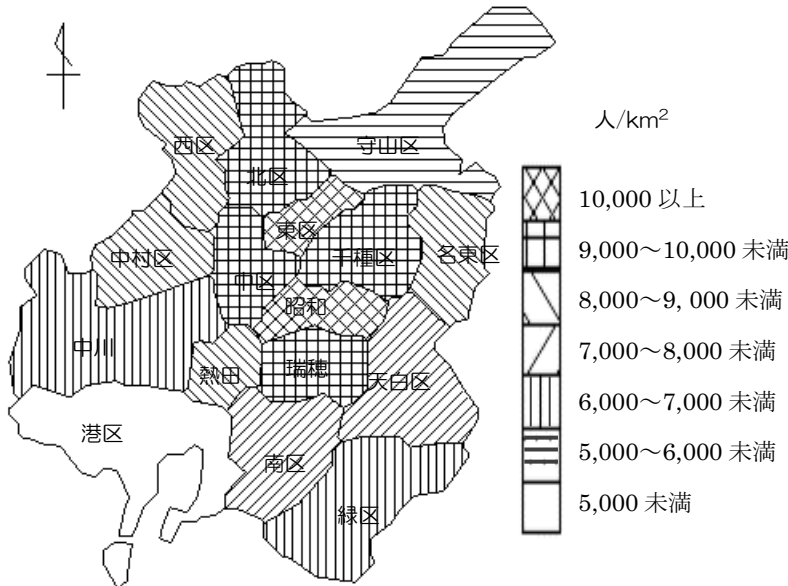
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の人口密度の概況

今回は令和2年10月1日現在の各区と千種区の各学区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

図1:区別人口密度(令和2年10月1日現在)

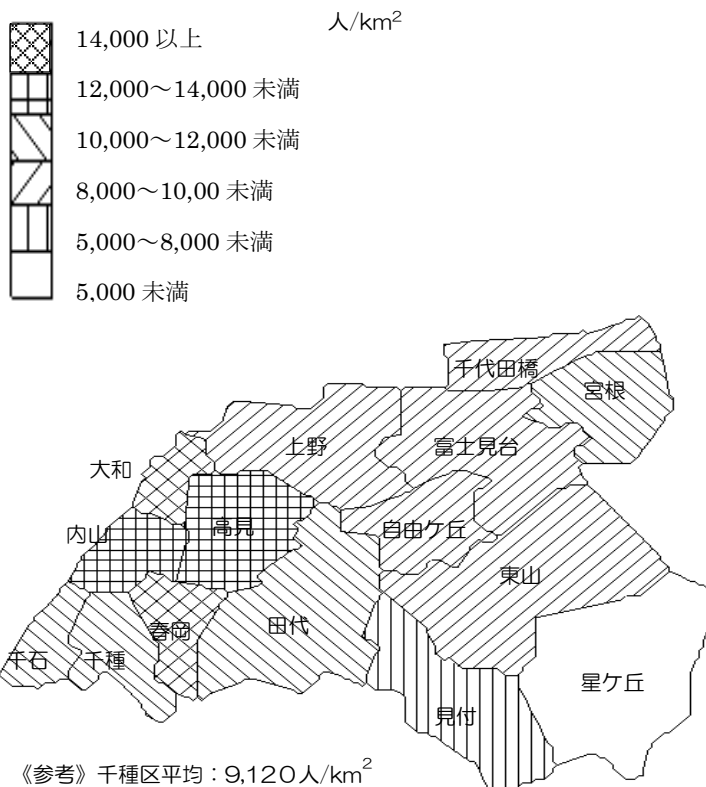


《参考》市平均: 7,127人/km²

令和2年10月1日現在の区別人口密度を見てみると(図1)、東区が10,933人/km²と最も高く、昭和区10,129人/km²、中区9,764人/km²、瑞穂区9,630人/km²、北区9,318人/km²と続き、千種区は9,120人/km²で6番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が3,137人/km²で最も低く、守山区5,199人/km²、緑区6,548人/km²と続きます。全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

図2:千種区の学区別人口密度(令和2年10月1日現在)



《参考》千種区平均: 9,120人/km²

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。

令和2年10月1日現在の千種区の学区別人口密度が高い順に春岡(15,078人/km²)、大和(14,245人/km²)、内山(12,984人/km²)、高見(12,668人/km²)、宮根(11,754人/km²)の順となっています。

人口密度が低いほうから見てみると星ヶ丘(3,246人/km²)、見付(5,255人/km²)、東山(8,075人/km²)、上野(8,472人/km²)、自由ヶ丘(8,688人/km²)の順となっています。

区の西側の学区が高いのに対して、東山公園や名古屋大学を含む星ヶ丘学区や見付学区が低くなっているのが分かります。